

# みなとタウンフォーラム・第2グループ 防災・生活安全分野

令和2(2020)年3月23日

## みなとタウンフォーラム第2グループ [メンバー]

川村 潔	小松 弘美	佐久間 孝夫
堀 雄一	松田 稔	三戸谷 二郎
南 かほる		

※メンバーは五十音順



# 提言にあたって

## 第2グループ【防災・生活安全分野】

防災や生活安全は、区民の生命と財産を災害から守る強いまちづくりのために重要なテーマです。グループには、防災の知識が豊富な人や地域活動に従事している人、区内の防災・防犯体制に関心を持つ人など多様な背景を持った人が集まりました。港区をより良くするという共通認識の下、さまざまな視点から「地震等の災害対策」、「地域の防災力向上」、「生活安全の向上」の3テーマについて意見を交わし、提言書にまとめました。

「地震等の災害対策」については、会議の開催経過中に台風15号が発生したことで、暴風や浸水などの風水害対策の重要性についても再確認し、あらゆる災害に備えた「災害対策が万全で、区内にいるすべての人を守れる強いまちづくり」の構築に向けて区に求める施策について議論しました。

本テーマでは、避難所を利用する人たちのニーズに対応した体制の整備や女性の視点も取り入れた避難所運営のあり方について話し合いました。きめ細かな情報発信、在宅避難の徹底と周知、帰宅困難者に対する対応など、多くの意見が出されるとともに、発災後の一時滞在施設の開設状況の周知等について鋭い指摘が出るなど、最も議論が盛り上がったテーマとなりました。

「地域の防災力向上」については、区、区民、事業者における連携の重要性を再確認し、年齢や性別、要配慮の有無等に関わらず各主体が高い防災意識を持ち「地域で支え合える防災力を有するまち」の構築に向けて必要な取組について議論しました。

本テーマでは、公助の視点のみではなく、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自助や共助の視点も考慮し、議論を重ねてきました。

「生活安全の向上」については、繁華街と住宅街が隣接している港区の特性を踏まえ、さまざまな背景を有する人が港区で安全に暮らし、活動していくために必要なことや取組について議論しました。

本テーマでは、パトロールなど犯罪が起こりにくい環境づくりや、犯罪発生情報の提供など情報発信の充実のほか、地域の無関心が犯罪を誘発するという観点から、きれいな街並みを維持するための取組の重要性など、安全な生活を送るうえで必要な取組について議論を重ねてきました。

本提言は、前回の提言を意識した内容となっています。よって、次期計画に反映されることをゴールとするのではなく、これらの想いを受け継ぎ、港区が今後ますます発展していくことを期待します。

# 提言の体系

テーマ	取組の方向性	提言内容（具体的な事業）
地震等の 災害対策	○港区の特性を踏まえた災害対策を広く周知する。 ○区が提供している各種防災ツールを有効活用した情報発信を行う。	(1)情報発信
	○避難所の整備・充実を図る。 ○女性の視点による防災対策を図る。	(2)避難所機能の強化
	○災害の発生に備え、日頃から災害に強いまちづくりを推進する。	(3)区民等に対する防災対策の支援
地域の 防災力向上	○区内の防災に関する人材を有効活用する。 ○発災時にお互い協力し合えるよう、日頃から各主体間が連携を図る。	(4)地域防災を担う人材育成および活用 (5)防災知識の普及・啓発 (6)防災住民組織等の活動に対する支援 (7)区、区民、事業者等との連携 (8)災害時要配慮者への対応
生活安全の 向上	○地域における主体間の連携やハード面の充実により、まちの安全を推進する。 ○さまざまな手段によって地域の安全安心の情報を幅広く提供する。 ○街並みの維持および向上のための取組を推進する。 ○区で取り組んでいる活動を周知し、地域の安全安心に対する意識向上を図る。	(9)地域の安全に向けた環境の整備 (10)情報発信の充実による生活安全意識の向上 (11)きれいな街並みを維持するための取組の推進

第1グループ  
【街づくり分野】

第2グループ  
【防災・生活安全分野】

第3グループ  
【環境・リサイクル分野】

第4グループ  
【地域コミュニティ分野】

第5グループ  
【国際化・文化分野】

第6グループ  
【産業・観光分野】

第7グループ  
【子育て・教育分野】

第8グループ  
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ  
【福祉・保健分野】

# テーマ① 地震等の災害対策

## 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

### 災害対策が万全で、区内にいるすべての人を守れる強いまち

一日頃から防災の取組が進んでおり、災害が発生した際は、区内にいるすべての人を災害から守れる体制が整備されている—

## 実現に向けた課題

### 【現状認識に関する意見】

- モバイルバッテリーや備蓄品の整備が進みつつある。
- 区には避難所の代わりとなる施設がある。
- 地域によっては防災組織に女性が多く、女性の視点を取り入れている。
- 地域によっては住民の90%が防災組織ネットワークに加入している。

### 【課題認識に関する意見】

- 避難所までの経路が明確になっていない。
- 一斉帰宅抑制や在宅避難者、液状化現象等、区の特徴を踏まえた対策が必要。
- 避難所の運営方法について改善していく必要がある。
- 主体間同士による連携の確立が必要。
- 防災ラジオや各種助成等、防災の体制が整いつつあるがさらなる充実が必要。
- 在宅避難に対するさらなる取組の推進が必要。
- 備蓄等の発災後対応についてもっと考える必要がある。
- 防災ラジオの多言語化や普及啓発等、情報伝達環境の整備が必要。
- 家具転倒防止用品の劣化に伴う代替手配や、木造物件の耐震強化等、災害に備えるべきことは多い。
- 他区からの避難者受け入れ等にも配慮する必要がある。

## 取組の方向性

- 港区の特性を踏まえた災害対策を広く周知する。
- 区が提供している各種防災ツールを有効活用した情報発信を行う。
- 避難所の整備・充実を図る。
- 災害の発生に備え、日頃から災害に強いまちづくりを推進する。
- 女性の視点による防災対策を図る。

## 具体的な事業

### (1) 情報発信

- 平時から、発災時に適切な避難行動がとれるよう、避難方法や手順の確認のほか自宅に重大な被害が無ければ在宅避難をするなど、防災マップ等を通じて防災対策の情報を発信する。
- 発災時には、区ホームページ、防災情報メール、ツイッター・フェイスブック等のSNS、防災アプリ、防災行政無線や280MHZ帯防災ラジオを活用し、災害状況や避難情報等に関する正確な情報を発信する。

### (2) 避難所機能の強化

- 近年の災害状況を踏まえた備蓄物資の充実を図るほか、プライバシーの確保やハラスメント対策等、女性の視点も取り入れながら避難所を整備する。
- 地域の防災拠点として、災害情報の発信や物資の提供等を充実させ、避難所機能の強化を図る。

### (3) 区民等に対する防災対策の支援

- 発災時の被害を最小限に留めるため、家具転倒防止等、区民に対する防災対策の支援事業を充実させる。また、事業者と連携して帰宅困難者対策を充実させる。

## 参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 災害に備えた体制づくりについて、企画段階から区民が参画する。
- 女性の積極的な参加を促す。
- 被害を最小限に留めるための施策を積極的に取り入れる。

## テーマ② 地域の防災力向上

### 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

#### 地域で支え合える防災力を有するまち

—防災対策に精通した人材が多く、高い防災意識を持っている。主体間の連携が強く、地域で支え合える防災力を有している—

### 実現に向けた課題

#### 【現状認識に関する意見】

- 地域によっては防災組織への加入率が高い。また、女性比率が高く、女性の視点による防災対策も図られている。
- 日頃から各所で防災訓練が頻繁に行われるなど、防災の重要性が広く浸透している。

#### 【課題認識に関する意見】

- 町内会と地域防災協議会をはじめとした組織間での連携推進が必要。
- 区内にいる防災士の積極的な有効活用が求められる。
- 住民組織だけでなく、事業所との連携も必要。
- マンション自治会の設立等、新たなネットワーク体制の構築が望まれる。
- 自治会への加入状況により、避難等に関する情報量の格差が生じている。
- 多面的に防災を捉える必要がある（女性・若者の視点など）。
- 家庭生活の中に、もっと防災の視点を取り入れたら良い。
- 発災時における外国人旅行者へのマニュアルが広く周知できていない。
- 避難所としての大使館の有効活用と可能性を考える必要がある。
- 災害時要配慮者に対処するための人手や手段を充当できていない。

### 取組の方向性

- 区内の防災に関する人材を有効活用する。
- 発災時にお互い協力し合えるよう、日頃から各主体間が連携を図る。
- 様々な視点から多面的に捉えた啓発を通じて、防災に対する意識や関心を高める。
- 災害時要配慮者（外国人含む）が適切に行動できる体制を整備する。

## 具体的な事業

### (4) 地域防災を担う人材育成および活用

- ・防災士等の地域の人材を有効活用して防災力強化を図るとともに、将来の防災を担う人材育成に努める。

### (5) 防災知識の普及・啓発

- ・防災イベントや映像等を利用した啓発を通じて、区の特徴を踏まえた防災知識を幅広く普及し、地域全体の防災意識を高める。

### (6) 防災住民組織等の活動に対する支援

- ・区が、地域防災協議会、町会・自治会、事業者等の活動に対して支援する。

### (7) 区、区民、事業者等との連携

- ・各地域で行われる防災訓練や防災イベントに区が積極的に関与し、情報交換等を通じて主体間の連携を強化する。

### (8) 災害時要配慮者への対応

- ・発災時に配慮を要する人も避難できるよう、災害時要配慮者に対する取組の理解促進を図る。

## 参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- ・各種イベント等を通じて、地域の主体間で緊密な関係を築いておく。
- ・若年層にも積極的に呼びかける。
- ・日頃から災害時要配慮者との交流を図り、取組の共有を図る。

## テーマ③ 生活安全の向上

### 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

区・区民・事業者・警察・消防等の連携による安全安心なまちづくりの推進

—区民の安全安心を守る各主体間の連携体制ができています—

### 実現に向けた課題

#### 【現状認識に関する意見】

- 消防署によってはボランティアと共に積極的に防火活動に取り組んでいる。
- 警察の目が行き届いていると感じる。
- 全国的には夜間のコンビニのまわりに中高生がたむろし、非行の温床になっているようだが、港区ではみかけられない。
- 大使館が多く警官が多く配置されている。
- 繁華街での客引き行為に対し、注意を喚起している。また、区長・警察署長を先頭にキャンペーンを実行している。
- 青パトはよく見かけ、少し安心する。
- 住民のモラルが高い。
- 安心して街を歩くことが出来る。
- ハード面が充実している。
- 全体の街並みがきれい。
- 落書きを消去する活動を区が行っている。

#### 【課題認識に関する意見】

- 火災から地域を守る啓発活動を実施しているが、参加者が限定されている。
- 区長・警察署長が先頭の客引き防止キャンペーンを六本木地区以外も実施した方がいい。
- 町会が街頭防犯カメラを設置する際の手続きに苦勞する。
- みんなと安全安心メールによるリアルタイムの情報発信が必要。
- みんなと安全安心メールは結果メールがない。
- 防災ラジオ、アプリ、行政無線で安全安心情報を流しても良いのでは。
- メール以外での安全情報の入手チャンネルが無い。
- みんなと安全安心メールに登録していないと情報が得られない。
- 高齢者が多くサギ等の電話や被害が多い。



- 繁華街と住宅地区が隣接している。
- 放置自転車やバイクがまだまだ多い。
- タバコエリアが確立しているが、煙が充満して歩く人が迷惑。
- 飲食店前にメニュー看板が多く歩行のさまたげになっている。
- 自転車のマナーが悪い。
- 小中高生を犯罪から守る具体的な対策が知られていない。
- 落書きを消去する活動が知られていない。
- 生活安全協議会の存在が知られていない。
- 住民間の関係が薄くなってきた。

### 取組の方向性

- 地域における主体間の連携やハード面の充実により、まちの安全を推進する。
- さまざまな手段によって地域の安全安心の情報を幅広く提供する。
- 街並みの維持および向上のための取組を推進する。
- 区で取り組んでいる活動を周知し、地域の安全安心に対する意識向上を図る。

### 具体的な事業

#### (9) 地域の安全に向けた環境の整備

- 区・区民・警察・消防等の各主体が連携するとともに、防犯カメラ設置促進や青色防犯パトロールの巡回など犯罪が起こりにくい環境づくりを推進する。

#### (10) 情報発信の充実による生活安全意識の向上

- 区内の犯罪発生情報の提供に加え、特殊詐欺防止対策等の区が行う事業や地域で行われているパトロール等の取組を周知し、区民の生活安全意識を高める。
- みんなと安全安心メールによる情報発信を充実させるほか、多様な媒体や機会を通じて地域のさまざまな犯罪に関する情報提供を積極的に行う。

**(11) きれいな街並みを維持するための取組の推進**

- 住宅地と繁華街が隣接する区の特徴を踏まえ、道路等の公共の場所におけるルールの遵守やマナー向上の啓発を行い、落書きや放置自転車、ポイ捨て等のないきれいな街並みを維持する。

**参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)**

- 地域の主体間で交流を図り、緊密な関係を築いておく。
- 日頃から地域のルールやマナーが守られるよう、キャンペーン等の啓発活動に参加する。
- 区取組や情報に関心を持つなど、安全安心に向けて積極的に関わる。

# 開催経過 第2グループ【防災・生活安全分野】

回数	開催日時	内容
<b>第1回</b>	令和元年10月1日(火) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局紹介</li> <li>・グループ会議の進め方について</li> <li>・分野における現状と課題について</li> <li>・リーダー、サブリーダーの選出</li> <li>・検討テーマの選定</li> </ul>
<b>台風15号発生！</b>		
<b>第2回</b>	令和元年10月15日(火) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回グループ会議の振り返り</li> <li>・検討テーマ「地震等の災害対策」について</li> <li>→防災に関する区の取組についての説明を防災課長から受けて議論した。</li> </ul>
<b>第3回</b>	令和元年10月28日(月) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回グループ会議の振り返り</li> <li>・検討テーマ「地震等の災害対策」について</li> <li>→台風15号の被害状況と対策についての説明を防災課長から受けて再度議論した。</li> </ul>
<b>第4回</b>	令和元年11月11日(月) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回グループ会議の振り返り</li> <li>・検討テーマ「地域の防災力向上」について</li> <li>→地域の防災力向上に関する区の取組についての説明を防災課長から受けて議論した。</li> </ul>
<b>第5回</b>	令和元年11月22日(金) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回グループ会議の振り返り</li> <li>・検討テーマ「地域の防災力向上」について</li> <li>→第4回グループ会議で話し合われた内容を振り返り、内容を精査した。</li> </ul>
<b>第6回</b>	令和元年12月9日(月) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回グループ会議の振り返り</li> <li>・検討テーマ「生活安全の向上」について</li> <li>→生活安全に関する区の取組についての説明を危機管理・生活安全担当課長から受けて議論した。</li> </ul>
<b>第7回</b>	令和元年12月23日(月) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回グループ会議の振り返り</li> <li>・検討テーマ「生活安全の向上」について</li> <li>→第6回グループ会議で話し合われた内容を振り返り、内容を精査した。また、テーマ1およびテーマ2の提言内容についても再度精査した。</li> </ul>
<b>第8回</b>	令和2年1月14日(火) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回グループ会議の振り返り</li> <li>・提言内容の確認について</li> <li>→テーマ1からテーマ3の提言内容について再度精査し、提言内容を取りまとめた。</li> </ul>

第1グループ  
【街づくり分野】

第2グループ  
【防災・生活安全分野】

第3グループ  
【環境・リサイクル分野】

第4グループ  
【地域コミュニケーション分野】

第5グループ  
【国際化・文化分野】

第6グループ  
【産業・観光分野】

第7グループ  
【子育て・教育分野】

第8グループ  
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ  
【福祉・保健分野】